

まだまだ寒い日々が続きます・・・お体ご自愛下さいませ。



ほっとぶれいく通信

ほっとぶれいく通信

【制作・発行】
販売力強化実践会
〒812-0892
福岡市博多区東那珂1-15-45
(小林印刷株式会社内)
TEL: 092-411-2246
FAX: 092-474-2433
編集人: 小林久子

こぼぶり
HOT NEWS

ほかほか...



今回は、当社のミーティングで読んで頂いている本を紹介させて頂きま

は、皆様ながら、社内でも読み合わせをして頂いている本の紹介をさせて頂きま

★ ★ ★

当社の営業部では、昨年の10月から本の読み合わせを行ってあります。目的は「営業部の目標を達成するためにモチベーションを上げ、ベクトルを合わせる」こと。毎日、ミーティングのはじめに、順番で1〜2冊ずつ読み、皆で感想を言い合っています。

本の内容は、その名も「No.1 営業力」。ベシックでありながら、とても勉強になる内容です。基本的な心構え、テクニック、魅力づくり等、分かりやすい内容でした。この本は1月21日に

編集長コラム



今年初めての「ほっとぶれいく通信」です。発行が少し遅くなり、楽しみにしていただいている方がいらっしやいましたら申し訳ありません。

遅ればせながら、今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

今年に入りまして、つい先日ですが、久しぶりに東京の勉強会に参加してまいりました。工場見学や、経営の勉強会などに参加して参りましたが、特に印象に残ったのが仕事の「見える化」についてでした。

当社は製造業として、皆様からご依頼いただく様々なお仕事をさせて頂いて今日があります。その製造の工程を誰からでも見える

1冊目を読了し、現在は2冊目です。

2冊目は、営業部のリーダーが「LIXILの1分間プレゼンテーション」という実践的な本を差別し、現在読んでいます。プレゼンの心得、シナリオの作り方、話し方の指導など...。まだ30Pほどですが、話したい事をどう分かりやすく端的に伝えるか、ということについて分かりやすく教えてくれる本です。

読み合わせは、まだ初めて間もないのですが、ずっと続けていく予定です。

営業部以外でも、朝のリーダー会で「社長の本」や、制作課で「成功への情熱」など、ビジネス書を読む機会が増えてきています。読むだけでなく実践に生かしていくべく社員一同頑張っています。



ようにあること。

また、その仕事に関わる経費も誰からでもすべて見えるようにすることです。

製造工程の「見える化」はかのトヨタ自動車様で実行されており、有名な言葉です。実行は困難を伴いますが、物作りをする製造業としては、会社独自の環境に合わせて実行していくことで、仕事の効率化や自主的な工夫、仕事しやすい環境づくり、安売り競争に負けない体質作りができるのではないだろうか、とすごく考えさせられ勉強になりました。

スカイリーの近くを研修中に通ったのですが、前で写真を撮るだけで、観光する時間はありませんでした(泣)。また次の機会に見たいと思います。

ほっとぶれいく通信

編集人 小林久子

販促アドバイザー
豆子が行く!
volume.4



4回目は、「色イメージ」の表現についての解説をするよ。

3回目は、色の歴史をちょっとだけ話したよ。

4回目は、とあるイメージを表現したい時、どんな色を使うべきか? を少し解説してみるよ。それも「一日の光の変化」を元に解説するね。

まず、「朝の光」から連想するイメージを言え...

- ① 静謐なイメージの配色
- ② 神秘的なイメージの配色
- ③ クリアなイメージの配色



上記は、あくまでも例です。

① 静謐なイメージ
② 神秘的なイメージ
③ クリアなイメージ

印刷豆知識 corner

その後(マルチインクルターの宗教改革の後)、欧米においては長らく活版による文字、凹版による絵画、挿絵の印刷が行われていた。

1798年にドイツのセネフェルターが石版印刷(リトグラフ)を発明。これが平版印刷の始めとなる。現在主流となっている平版オフセット印刷は、1904年にアメリカのルーベルが発明したといわれているが、それ以前に、イギリスではブリキ印刷の分野で使用されていた。ルーベルの発明が、紙への平版オフセット印刷である。

昔の日本においては、「百万塔陀羅尼」が作成されて以降二百数十年間、印刷物が出されることはなかったが、平安時代中期に

朝の光の特徴は、「空が白む」と言われるように、散乱した光によって空が明るくなることで夜明けが分かる。明るくなるにつれ、物体の存在感・立体感が強くなり、朝の光よりもコントラストは低く、景色が青みを帯びて見えることが多いと一般的に言われているんだよ。

そんなことから、

① 青系統の色を基調色として使う。

② 青系統の高明度の色を基調色として使う。

③ 青系統の高明度の色を基調色として使う。

④ ①〜③が表現できる、と

いいたいこと。

①〜③のイメージ色を左記を参考に

④は、「朝の光」から連想するイメージを話すよ。

① 静謐なイメージ
② 神秘的なイメージ
③ クリアなイメージ

④は、「朝の光」から連想するイメージを話すよ。

になって、摺り供養が盛んに行われるようになった。これが、奈良を中心とする寺院の間に、出版事業を興させるようになる。興福寺などで開版した印刷物を春日版と呼ぶ。鎌倉時代には高野山金剛寺でも出版を行うようになった。これは高野版と呼ばれる。13世紀頃からは、宋へ留学した僧がもたらした宋刊版の影響を受け、京都で五山版が出る。

安土桃山時代になると、宣教師に日本語を学ばせるため、初めて活字による印刷(キリシタン版)が行われ出す。近世以前は金属活字を用いたキリシタン版や酸河版といった例外を除き、木版印刷が中心だった。江戸時代初期から中期にかけて、美麗な装幀本を始め、庶民の読み物である赤本や黄表紙など、「一気」出版文化が開花することになる。これらは、木活字もしくは木版を用いた整版が使われた。

(第3回へ続く)

リレー式 お役立ちコラム

古今東西

「ダイエットの知恵」

あけましておめでとうございませう。2013年も早い正月、楽しい正月を過ごせましたでしょうか? 私は、故郷の天津市牛深に帰省しました。牛深は魚が新鮮でおいしい、おいしい魚を食べてほしい、見事なまでに太ってしまいました(汗)

今年の干支は「巳(蛇)」。蛇は、餌を食わなくても長く生きるそうです。何となく、(断食)ダイエットを連想するのは私だけでしょうか?

ということで、私が最近関心を持っている記事を書きたいと思っております。

ある雑誌の「ダイエット特集」で「日」のものが食べなくなったら、アーモンドやドライフルーツで「間食を」の一文が...。ダイエット成功には、間食をしないことだと思っていた私には、衝撃的で魅力的なフレーズでした。インターネットでいろいろいろいろ調べてみると、

「アーモンドは、繊維質、タンパク質、抗酸化物質、ビタミンEが豊富に含まれていて、噛みかたえもあり、腹もちもよいので、5〜6粒ほどで満足できる。さらに、豊富な不溶性食物繊維は、腸内環境を整え、有害物質やコレステロールをはじめとした余分な脂肪分の吸収を制御する効果があるそうです。」

「ドライフルーツの特徴は、鉄分カルシウムなどのミネラル分や食物繊維がたくさん含まれており、これらの栄養分が、便秘解消や貧血予防などに、ダイエット時の悩みを解決してくれる。また、噛みかたえがあるため、早食いや食べ過ぎを防ぐ効果もあり、紅茶やハーブティーなど、温かい飲み物と一緒に食べると、胃の中で膨らんで少量でも満足できる」と書いてありました。

面白いし、おなは私には、間食を我慢できない場合が多いです。食べたくなったら、迷わず少量のアーモンドとドライフルーツを食べて乗り切ってみます。

皆さんも試してみたいかがでしょうか?

営業部 上野浩伸

今月の「ほっとぶれいく」

「まずい食材はない。まずい料理があるだけだ。」

この言葉は、あるドラマの中で出てくる一節です。

人の性格も味のあるものばかり。シェフの調理次第で「まずくなる」。

まずい食材はない。私も部署のリーダーとして素材の味を最高に引き出せるような一流シェフを目指して修行中です。小林印刷が三つ星をいただけるような会社を目指して頑張ります。

制作課 リーダー 松島 史明



今日の「ほっとぶれいく」

「真冬のバラ」

1月14日、休日に東洋公園で撮影しました。寒い冬に、鮮やかに咲いていました。



※ 本社のブログ「ほっとぶれいく」に本記事の撮影を掲載しています。

編集後記

第12号を購読頂き、誠に有り難うございます。ぜひ、感想やご要望(ご意見)をお寄せください。お待ちいたしております。2月10日発行予定です。

次回発行は

平成二十五年三月十日(予定) 定してあります。

定してあります。